



開物成務

郡山市立開成小学校
学校便り No.28
平成29年10月27日
文責：校長 伊藤孝行

嬉しい電話をいただきました



先日、開成小学区内にお住まいで、盲導犬を利用されているという方から、私宛に嬉しい電話が入りました。

スーパーに買い物行って困っていた時に、開成小の4年生の女の子が「こんにちは、何か手伝いますか？」と声をかけて買い物を手伝ってくれたことがとても嬉しかった。そのことを私に伝えたいということで電話をかけたということでした。また、その方は、開成小の子ども達は、あいさつをしてくれる子どもも多く、家庭や学校の指導が良いといつも思っていますともおっしゃってくれました。

子ども達が頑張っていたり、善い行いをし地域の方から褒められたりすることは、学校にとっても嬉しいことです。

残念な電話もいただいてしまいました

「キックボードで飛び出してきた開成小の子どもが轢かれそうになった。」という電話が入りました。電話の方は、麓山通りを車で走っていたドライバーの方でした。



お話の中身は、開成山公園から、キックボードに乗ったまま、麓山通りに左右確認をせず飛び出してきた子どもがいたということでした。

幸い、事故にはなりませんでしたが、一歩間違えると命の危機になる出来事でした。

開成小の学区は、いつ交通事故が起きてても不思議ではないくらい危険箇所だらけです。

小学生の交通事故の多くは、「飛び出し」によるものです。自転車、キックボード、徒歩に関係なく、「左右の確認」「飛び出し禁止」を繰り返し繰り返し指導し、交通事故に遭わないように危機意識を高めたいと思います。

あいさつ隊が頑張っています

朝の昇降口には、「あいさつ隊」子ども達がそろって、「おはようございます。」のあいさつで迎えてくれます。



子どもの頃、「挨拶をすると気持ちが良い」と教わりませんでしたか？でも私は、それは少し違うと思っています。本当は「挨拶はされると気持ちが良い」ものなのです。

あいさつ隊は、昇降口で毎朝、友達や下級生が気持ちの良い一日のスタートができるよう頑張ってくれています。

インフルエンザの流行の兆しが

郡山市内でもインフルエンザに罹患する子どもが増えています。

本格的な寒さの前の流行は、予防接種も間に合わず、感染の広がりが心配されます。そこで、重篤な症状にならないように、早めの予防接種をお勧めします。

また、「うがい」「手洗い」「マスク」「規則正しい生活」等で、インフルエンザから自分の体を守ることもできます。

明日は、発表会・PTAバザーです

どの学年の子ども達も、明日に向けて練習やまとめに励んでいます。「学んだことを表現する」この力は、子ども達の将来にとって大切な資質能力です。子ども達の発表を温かく見守っていただきたいと思います。

午後からはPTAバザーです。佐藤会長さんを中心に、子ども達のために楽しい企画をありがとうございました。